

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	72	学校名	静岡県立浜松南高等学校	校長名	鈴木 学
------	----	-----	-------------	-----	------

1 スクール・ミッション

世界的企業の発祥地となった工業都市にある普通科・理数科を併置する高校として、大学・企業と連携しながら、高い学力と幅広い人間性を育む教育活動を通して、社会に貢献しようとする志を持ち、最善を尽くして21世紀に自らの人生を切り拓き生き抜く人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>① 共通テストを含む大学入試レベルの学力、更には、大学等、上級学校での学びに必要な学力を身に付け、生涯学び続ける姿勢を持つことができる。</p> <p>② 多様性の尊重、コミュニケーション能力、創造力、実践力の向上、SDGsの意識やグローバル的視野等を有し、目の前の課題を自らのものとして意識し、解決するための努力をすることができる。</p> <p>③ 社会に貢献しようとする志を実現するために、俯瞰的に自己を見つめ、自らの未来を広い視野で思い描き、目標に向かって着実に努力をし、自信を持って行動に移すことができる。</p>	<p>① 普通科・理数科の併置により、生徒の適性や進路希望に対応した教育課程を編成する。また、放課後、土曜、長期休業中の補習を充実させ、大学入試等にも対応できる学力の向上を図る。</p> <p>② 授業、HR活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において、チャレンジできる環境を作り、他者との関わりや協働活動を通して、直面する課題や困難を解決し自己の人間力の向上を図る。</p> <p>③ 大学、地元企業、同窓会等と連携し、講演会や実習など「本物」に触れる機会を増やすと共に、総合的な探究の時間を通して学習と社会の関連を実感させ、社会で必要な力・スキルの習得、学力と人間力の土台となる志の向上を図る。</p>	<p>① 基礎学力が定着しており、探究心が強く主体的に学習しようとする意欲の高い生徒</p> <p>② 基本的な生活習慣が身に付いており、他者の考えや立場を理解し協働していく姿勢が持てる粘り強い生徒</p> <p>③ 志を持ち、その実現に向けて自分の意志で行動し最善を尽くすことができる生徒</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 高い志を育む

- a 自己理解を深めさせる
- b 志を育む情報と機会とを提供する
- c きめ細かな進路指導を行う

イ 学力を伸ばす

- a 学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実する
- b **主体的な学習習慣を身に付けさせ、自学できる生徒を育成する**

ウ 人間力を高める

- a **自己管理能力を高める**
- b 主体性・創造性・協働性を育てる

エ 安心・安全な教育環境を整える

- a 施設・設備を整備する
- b 教育相談活動を充実する
- c 広報を充実する
- d 業務改善を図り教職員の健康を保持する

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 高い志を育む	a 自己理解を深めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間等を通じて、自己の在り方・生き方や進路について考え、自己の足跡を記録として残していく。 発信型（アウトプット）的活動を通じて、自己理解を深めるとともに、志を育む。 	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒 80%以上	全教員 進路課 図書課
	b 志を育む情報と機会とを提供する	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を提供し、本人の希望・適性を踏まえ丁寧な文理類型登録・科目登録の指導を行う。 進路希望調査を定期的実施し面談等で取組状況等アドバイスを行い、進路意識の高揚を図る。 キャリア・プランニングの意識高揚のためのOB講話、進路講話を実施する。 興味・関心や探究心の高揚のため、様々な講演や訪問、他高校との交流等を行う。特に理数科は、その特性を深め学習の支援や専門的な研究に触れるため大学訪問や研究施設を訪問する。 	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒が卒業時に、入学時に対して30%up	全教員 進路課 理数科
	c きめ細かな進路指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間や三者面談等で、1、2年生は年3回以上、3年生は年5回以上、個人面接等を実施し、家庭との連携のもと、一人ひとりの状況、志望、到達可能地点等を詳しく把握し指導する。 各種テスト、模試結果、教育的な到達可能地点を関係職員で共有して、生徒へフィードバックし、個別の進路指導を行う。特に1年生に対しては丁寧に指導する。 	進路指導が充実していると答える生徒 80%以上 文理選択、進学について生徒自身がプレゼンテーションを行う	全教員
イ 学力を伸ばす	学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実する	(ア) 学習意欲を高める指導を充実する。 <ul style="list-style-type: none"> BYODの推進、観点別評価の活用等により授業への関心・意欲を高める。 生徒の努力を適切に評価することで自己肯定感を育て授業の中で生徒同士が教え合うことで授業の理解度を深める機会を積極的につくる。 	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 80%以上	全教員 教務課 研修課
		(イ) 思考力・判断力・表現力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> 習得した知識・技能を活用させるために、グループワークやアウトプットの授業を取り入れる。 言語活動（聞く・話す・書く・読む）を充実させる。 授業改善を図るため、積極的に授業参観（他教科を含む）や外部の教科研修等に参加し、教材研究に役立てる。 探究活動発表を公開し成果をフィードバックする。 	授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒80%以上 探究活動が充実していたと答える生徒70%以上	全教員 教務課 研修課
		(ウ) 基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。 <ul style="list-style-type: none"> 小テスト、課題等により、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 わかりやすい授業を行い、基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着と、思考・判断・表現等を育む活動につなげる。 	授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒85%以上	全教員 教務課 研修課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
イ 学力を伸ばす	b 主体的な学習習慣を身に付けさせる	(ア) 自ら行う学習を習慣化させる。 ・定期的に授業以外での学習調査、定期テスト・部活動 予定等の早期の告知と併せ目標・スケジュール管理を主体的にできる指導を行う。 ・学力の測定ツール及び模試結果をフィードバックし、個別に改善指導を行う。 ・教員が ICT 等を活用し個別最適化された学習に取り組む。	平日2時間、休日3時間以上の自学の時間確保 主体的に学習する習慣があると答える生徒70%以上	全教員 教務課 進路課
		(イ) 自ら学べる機会を設けるとともに外部教育機関との連携した学習機会を提供する。 ・夏季及び土曜の補習の 効果について検証を行い改善を加える。 ・外部教育機関の学力テスト・資格試験等の受験機会を提供する。	授業以外学習機会が充実していると答える生徒80%以上 補習の検証と7時間目削減に向け検討を行った	進路課 全教科
		(ウ) 高め合える学習集団を形成する。 ・志の育成を通して進路意識を高め、 授業以外の時間でも、学年やクラスとして生徒同士が競い合い励まし合う雰囲気をつくる。	学習活動で励ましあう友人がいると答える生徒90%以上	全教員 進路課
		(エ) 読書習慣を身に付けさせる。 ・「心に残る本」に出会えるような読書活動や広報活動を通じ、読書習慣を身に付けさせる。 ・新校舎における図書室の活用について検討し、探究活動につながる読書活動を工夫する。	心に残る本に出合ったと答える生徒50%以上	全教員 図書課
ウ 人間力を高める	a 自己管理能力を高める	(ア) 健康で規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 ・遅刻・早退・欠席、朝食摂取、睡眠時間の確保等の健康管理、スマホの利用等について日常的に指導する。	生活習慣が確立していると答える生徒80%以上	全教員 厚生保健課 生徒課
		(イ) 交通安全と防災の意識を高め、命を守る。 ・集会等で繰り返し交通安全について指導する。 ・交通指導員・保護者・地域等と連携して街頭交通指導を行う。 ・地震(津波)や火災等の災害に対する知識、避難の方法など、定期的な訓練を通じて、いつでもどこでも対応できる防災教育の徹底を図る。	交通法規を守っていると答える生徒90%以上 重大な交通事故ゼロ 避難先や避難経路を把握していると答える生徒80%以上	全教員 生徒課 総務課
		(ウ) 規範意識を身に付けさせる。 ・言葉遣いや挨拶、服装(新制服導入含む)・頭髪等身だしなみについて日常的に指導するとともに、 生徒会活動等を通して、主体的に取り組む姿勢を育てる。 ・提出物の期限厳守や与えられた役割を責任もって遂行させる。 ・共に学ぶ仲間、共有して使う場所(校舎、教室等)を大切にすることを育てる。	校則やマナーを守っていると答える生徒90%以上 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒90%以上	全教員 生徒課 厚生保健課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ウ 人間力を高める	b 主体性・創造性・協働性を育てる	(ア) 学校行事・生徒会活動等を充実する。 ・波濤祭・体育大会等の学校行事、生徒会活動、学級活動等で、生徒が教員と話し合い、企画・運営する機会を設けることを通してチャレンジできる環境を整え、主体性・創造性・協働性を育てる。 ・ 生徒が学校経営に参画する機会を設ける。	学校行事により人間力が高められたと答える生徒 80%以上 生徒が行事や学校運営に対して提言を行った	全教員 生徒課
		(イ) 部活動を充実する。 ・部活動ガイドラインに基づいて、主体性・創造性・協働性を育てる。 ・部活動月予定を早期に提示し、部活動と学習活動を両立させる。(午後7時30分完全下校等)	部活動により人間力が高められたと答える生徒80%以上 部活動と学習活動を両立させている答える生徒 70%以上	部活動顧問
エ 安心・安全な環境を整える	a 施設・設備を整備する	・ 新校舎に向け、図書室、進路指導室、自習室等の学習に関わる施設・設備の整備運用の工夫を行う。 ・体育・部活動等に関わる施設・設備の整備に努める。 ・地震(津波)や火災等災害に対する施設・設備の整備に努めるほか、非常用飲料水等備蓄についても継続して計画的に行い、職員、生徒に周知する。 ・老朽化した校舎・施設の修繕とともに校内美化に努める。清掃とごみの分別の徹底、清掃用具の整備に努める。	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒70%以上 校内美化(掃除ゴミ拾い等)に努めていると答える生徒 80%以上	事務部 全教員 総務課 厚生保健課
	b 教育相談活動を充実する	・担任の面接を充実し、スクールカウンセラーや心理アドバイザーと連携して、困難を抱える生徒を支援する。 ・ 生徒の困り感を全職員で共有する。	悩みを相談できる人がいると答える生徒 85%以上 ICT等を用いた情報共有システムがある	厚生保健課
	c 広報を充実する	・本校の教育方針や日常的な教育活動を、配布物・ホームページの定期的な更新を通じてわかりやすく伝える。 ・全ての情報をホームページに一元化し、C-ラーニングや配布物からもホームページに誘導する。 ・1台PC他 ICT等を用いてペーパーレス化と学校・生徒・保護者間の情報共有を図る。	わかりやすく伝わっていると答える保護者 80%以上 印刷物の配布前年比 2割減	教務課 管理職 (教頭)
	d 業務改善を図り教職員の健康を保持する	・定期的に職員安全衛生委員会を開催し、教職員の健康の保持増進を図る。 ・ICT等の活用により業務量を軽減する。 ・部活動ガイドラインに基づいた部活動指導を徹底する。 ・部活動、交通指導で外部人材を活用する。 ・業務削減、改善等について研修を継続的に行う。 ・学校運営協議会と連携し学校改革・業務改善を行う。	ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100(全国平均)を下回る。年100時間以上の有給休暇の取得 学校運営協議会から提言をいただき1件以上の改善を行う	管理職 厚生保健課 生徒課